

# 旬花報

3号

2005.3.31

発行 群馬県立女子大学  
同窓会事務局

371-193 佐波郡玉村町上之手1395-1  
TEL: 0270-65-8511  
(代表) 保健体育準備室  
URL: <http://www.gpwu.ac.jp/>

## 学長挨拶



県立女子大学学長  
富岡 賢治

(拍手) 紹介、そして、お招きいただきましてありがとうございます。うちの大学はカリキュラムを、各学部科長さん等といる話合いをしまして、英語教育を重視だとか、地域の芸術家を依頼した芸術プログラムだとかいろいろなプログラム等導入して、どんどん変わってきております。それから去年から、ともかく学生は、何でもいから外国で勉強するのだというので、留学希望の学生を集めましたから、去年百人、今年も百人を超える学生が長・短期でアメリカやイギリスやオーストラリアに留学するようになりまして、みんな元気にやっています。

今(同窓会長から)ご紹介いただきましたように外国のことを勉強するだけではなくて、日本の文化、それから地域を勉強しようというので国文科長の篠木君と一緒に「群馬学」というのを確立しようと考え、群馬をみんなで勉強するのいうシンポジウム等を三回程しました。ちょっと雑談になりますけど、県立女子大のホールですが、講堂は約千人入るのですね。一階だけで七百人入るのですけれど、千人入るホールを作ったの一度も満杯にしたことはないじゃないか。一いつて設置者の県庁から嫌みを言われてきまして、よし、じゃあやってやると言っていて「確か「日本のことと文化」の公開授業は、千人が一杯になった

上に、モニターつきで別会場というくらい一杯入りました。その時は谷川俊太郎氏でしたかね。それから、河合肇雄氏の時もね。あとはだいたい七、八百人、一回だけで七百人。その時に同窓会長さんにお世話になりました。ちょっと人数あわせて最低三、四十人同窓会から出席して欲しいのかっていう内輪話をしたのですけれど、参加者の数がちよつと足りないようでございますから、もう少し、もう一踏ん張りしていただければと思います。先ほど来、会長さんが一生懸命やっておりますので、まあ、事務局を応援しまして、同窓会の方にもお手伝いをこれからもお願いしたいなあと思っております。

大学ですけど、今ご紹介いただきました来年四月に、国際コミュニケーション学部という学部ができました、県立女子大二学部体制になります。入試をもうやりまして、やりましてといっています、まだ半分なのですけれど、AO入試っていうので、自分で自己推薦をして、受ける学生の試験をしました。面接会場も県立女子大だけじゃなく、東京と仙台で面接するようにいたしました。そうしましたら、文学部の方もたくさん集めましたけれど、新しい学部の、AO入試は五人だけ探ろうって言ったら、百二十五人受験者が来まして、そのうちの半分以上が高校時代に一年以上留学しているって事がございまして、面接したら、ちゃんばらんな子もいたのではありませんか、教員も驚くような学生もいたのではありませんか、教員も探ったものから、一般人試はちよつと考えなければならぬかもしれないですね。バイリンガルや、中には映画スターの卵も入学生に決まりました。「パトルロワイヤル」っていう映画をご存じですか、中学生が互いに争い、最後に一人残るついで

うものですが、その映画の主演じゃなくてまあ端役のタレントなんか受験して、その子も入学生という事になりました。まだ教授のみなさんにはお願いしていませんけど、これからはタレント活動をやっていきながら勉強したいということなので、うまく両立できればいいなと思っています。それから来年の四月から工事が始まりまして、新しい国際コミュニケーション学部とか語学教育もやる建物、正門を入って右側に駐車場、テニスコートの駐車場がある、あそこに六階建ての建物を作るのですね。十数億円かけてすね、四月から二年間かけて工事をいたします。最初は高崎や前橋からタクシーに乗って群馬県立女子大に行つてなんて言うのと、「えっ。県立女子大つてどこでしたっけ。」なんてだいたい運転手さんが迷うなんてこともあつて、新幹線から見ると、十四階つていって何があるかというキャンパスの隣にあればあるでしょう、マンション。女子大前マンションなんて書いてあるのが十四階なのですね。あれ位の大きさにならないと見えない。ちよつとがんばったのだけど、そこまで辿り着きません、まあ六階建て位で終わりますので。語学教室は、完全なフル装備の勉強学習設備を配備いたしました、徹底的に語学漬けと、日本文化と地域学の勉強にもと考えています。

まあいろいろそういう話題もありますので、同窓会のお力添えもいただきまして、大学の報告方々お礼を申し上げます。ありがとうございます。(平成十六年十二月十九日 同窓会懇談会にて)

## 懇親会の挨拶



同窓会長  
城代 富美江

皆さんこんにちは。昨年の総会から一年と一ヶ月が経ちました。

本年も好評によりメトロポリタンホテルさんで開催する運びとなりました。本日は学長さんをはじめ、大変お忙しい方がおみえくださつております。年末のお忙しいところご参加いただきました皆様方に感謝を致します。

先程総会が無事終了し、その報告をさせていただきますが、昨年度は、同窓会設立50周年を記念して同窓会の名称を募集し「紫桜会」と決まり、学生を表彰する「紫桜賞」を承認いただいて、E.S.Sとダンスサークル・パーニングソールの2団体を表彰いたしました。大学のご好意で入学式に新人生を前に、表彰させていただきました。

また、同窓会の通知の処理や会費納入伝票の整理をしていただく庶務役の設置を昨年承認いただき、今年度から日本文の大学院生熊谷美保さんにお世話になつております。のちほど声を聞かせてくださると思います。

ところで、今年は、個人的に玉村に何回か足を運ぶ機会がありました。来年度から国際コミュニケーション学部が開設するにあたり、真の国際化を図るために自国の言語や文化を見つめなおす事が必要というところから、日本のことと文化、群馬のことと文化、群馬学シンポジウムと沢山のコマの公開講座やシンポジウムが開かれていたからです。断片的ではありましたが、学ぶという雰囲気にはなっておくことができ、学生の頃とは違った楽しさを体験いたしました。同窓会でもそういった情報をお届けするように努めていきたいと思っております。

本日ご臨席を賜った方々に、心からお礼申し上げます。皆様近況報告や昔話など話を花を咲かせて下さい。また、卒業生で、FM群馬で活躍されている高橋典子さんに司会をお願いし、皆さまと楽しいひと時を過ごしたいと思っております。

最後に同窓会の幹事さんの有志で総会準備委員会を組織して、本日の懇親会の運営をして下さつておりますが、国文3期の清水さんがとりまとめてくださいました。清水さんありがとうございます。

こうして、同窓会には多くの皆様を支えられて歩んでおります。今後ともよろしくお願いたします。本日はありがとうございます。

## 本学の思い出



美学美術史学科

阿天坊 耀

私は本学が開学して2年目に他の3人の先生方と共に本学に赴任した。当時は校舎は前橋にあつて旧前橋高校の建物を改築して使つていた。今思うと木造の建物でいささか古びてはいたが正面玄関の上の円形の時計がついていてそれなりに趣のある校舎であつた。今は生涯学習センターになつてゐる。数年前当センターで教えたことがあつてしばらくぶりに当地を訪れたが以前の面影は周囲の環境の変化とともに跡形もなくなつてゐた。少し寂しい気持ちがあつた。私の研究室は確か3階にあつたように思う。たいへん日当たりの良い部屋で冬でも暖かく暖房を入れたことがなかつた。グラウンド越しに瓦葺きの屋根の家並と工場が見えた。今手元に当時部屋の窓からの眺めを描いた1枚のスケッチがある。工場の煙突から煙が立ち昇つてゐる。遠くには山々の連なりが見える。程なく本学は今の玉村校舎に移転した。暑い夏の夏休みに引越した。私の書籍がなかなか届かず少々焦つたことを覚えてゐる。今の研究室は中庭に面して遠望はきかないが春には桜が咲いてなかなか風情がある。当時の玉村は人家も少なく学校の周りにはほとんど何もなかつた。新町駅から歩いて来て岩倉橋を渡ると校舎が遠くにはつきりと見えた。20年余通ひ続けているとこの間の大きな変化に気付かないが、今では随分と玉村の町も賑やかになつた。大学にはその後いろいろ紆余曲折はあつたにせよ美術の教職課程の設

置にともなつて実技棟が作られた。いろいろな展示をしてくれるのでその都度見に行くのを楽しみにして来た。月並みな言葉だが24年間は今になつてみると長かつたような気もするし短かつたような気もする。この間、美学美術史学科に所属して私なりに精一杯西洋美術史を教えて来られたことをたいへん幸せに思つてゐる。

私はレンブラントを中心に17世紀のオランダ美術を研究して来たがいまだに分らないことがたくさんある。特にレンブラントの絵画に関しては近年のオランダの研究者達によつて行われた綿密な作品の鑑定の結果、従来レンブラントの名作の言われて来たものも含めてその信憑性が問題とされて世界中にセンセーションを巻き起こした。しかしその後この鑑定を踏まえて賛否両論種々の見解が出されてゐる。これからもレンブラントの研究を進めて行くつもりである。

本学には来年度から新学部が出来る。ちょうどこの境目の時期に私は退官することになるわけであるが本学の発展を心から願つてゐる。

## 第5回総会・懇親会

去る平成16年12月19日(日)、ホテルメトロポリタン高崎において、第5回同窓会及び懇親会が行われました。同窓会総会後に開催された懇親会は、久しぶりに顔を会わせた先生方や同窓生みんなで楽しく語り合うことができました。

しかし、大学の開学から日がまだ浅いこと、卒業生の年齢が結婚や子育てなどで忙しく、なかなか参加したいと思つても足を運ぶことが出来ないためか、懇親会に参加する人数についても年々少なくなつてきてゐるのが現状です。

そんな中、この懇親会に同期会を兼ねて集まるグループや、サークルの仲間に参加し、2次会を行った同窓生もいました。そんな参加者の声をここで紹介します。(以下、一部抜粋です。)

気に恵まれ、入場者数も過去最高(2,456人)を記録しました。(昨年度1,300名程度)

「咲うーわらう」というテーマに見合った、学生も一般来場者も楽しめた大学祭となりました。

実行委員会としても、パンフレットの内容の充実、スタンプラリーの発展、マレーシア舞踊団の招聘などのたくさんさんの新企画、バルーンという初の試みといった、さらによりよいものにしていくこうとする意識が非常に高かつたといえます。

この様な活動が認められ、今回の受賞となりました。おめでとうございました。



皆、静かに。懇親会のはじまりです。

○今回の同窓会は、8期国文の同期会を兼ねようということで、同窓会通知と一緒に同期会開催の通知をしました。参加人数は、それほど多くはなかつたのですが、渡邊先生、篠木先生、北川先生など、国文学科の先生方との話も弾み、とても楽しい一時を過ごせました。私は県外なので、毎回参加というわけにはいきませんが、今回で3回目。参加する度に懐かしい方々にお会いでき、楽しいお話しができるので、これからも参加できる時には参加していこうと思つてゐます。今度同期会を企画する時には、ゼミの先生方にも声をかけ、もっとたくさん参加できるようにしたいと思います。

(国文8期・Sさん)

## 紫桜賞は

## 『錦野祭実行委員会』

## に決定致しました。

本年度の錦野祭は、例年より2週間遅れて、11月末の開催でしたが、他大学の学園祭ラッシュからも離れ、強風、寒さ、台風の接近など不安材料はあつたものの、これ以上ない天



なつかしき笑顔まぶしい8期生

以上のとおり、この同窓会懇親会を「集まり」の機会として工夫しているみなさんがいます。これをきっかけとして、是非、大勢のみなさんとお会いできることを楽しみにしています。

また、同窓会・懇親会に対するご意見があれば、同窓会HP <http://www.geocities.co.jp/Collegelife-Cafe/6730>までお寄せ下さい。

懐かしい顔との再会はとても楽しく、先生方が大勢参加して下さったのも嬉しかったです。

同窓会への出席は、1回目の母校が会場の時以来だったので、回を重ねて賑わっているものだと思っていたので残念でした。私のように県外から行く者にとっては、高崎駅直結つていうのは便利なんだけど、県内の人にとってはそうではないのかしら。それとも12月だったから？

県内在住の人がもつと参加してくれたら嬉しいのね。

(国文8期・Oさん)

## 平成15年度 決算

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥ 925,849	企画費(紫桜賞)	¥ 100,000 <sup>付表1</sup>
15年度分年会費	¥ 528,000	企画費(懇親会補助)	¥ 14,107 <sup>付表1</sup>
15年度入学者入会金	¥ 410,000	広報費(旬花報・編集費等)	¥ 304,882 <sup>付表2</sup>
		懇親会補助金	¥ 100,000
		事務用品	¥ 52,132
		郵便・郵送費	¥ 585,750
		振込手数料	¥ 31,420
		会議費	¥ 23,887
		交際費	¥ 15,855
		(支出小計)	¥1,228,033
		予備費	¥ 635,816
<b>合計</b>	<b>¥1,863,849</b>	<b>合計</b>	<b>¥1,863,849</b>

## 平成16年度 予算

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥ 635,816	広報費	¥ 317,150
16年度分年会費	¥ 500,000	企画費(紫桜賞等)	¥ 100,000
16年度学部入学者入会金	¥ 510,000	懇親会補助金	¥ 100,000
		事務用品	¥ 60,000
		郵便・郵送費	¥ 700,000
		振込手数料	¥ 35,000
		会議費	¥ 50,000
		備品等	¥ 200,000
		(支出小計)	¥1,562,150
		予備費	¥ 83,666
<b>合計</b>	<b>¥1,645,816</b>	<b>合計</b>	<b>¥1,645,816</b>

## 平成15年度 活動報告

月日	活動内容
15.4.5	役員会議・入学記念品贈呈 会長入学式出席
4.27	広報委員会議
5.10	役員会議(第5回幹事会について)
5.22	広報委員会議
5.27	広報委員会議
6.6	大学事務局との話し合い
6.12	広報委員会議
6.27	第5回幹事会前日準備
6.28	第5回幹事会・「旬花報」年会費納入通知発送作業
7.12	役員会議(学生表彰・同窓会名称募集について)
7.26	幹事会欠席者への報告書発送
9.15	役員・総会準備委員会議・「総会・懇親会案内」発送作業
10.18	同窓会名称審査会議・役員会議・広報委員会議・総会準備委員会議
10.31	総会・懇親会最終打合せ
11.8	平成15年度総会・懇親会(同窓会名称「紫桜会」について表彰等)
11.20	学生表彰「紫桜賞」公募(~15.2.13まで)
11.22	広報委員会議
12.6	反省会
16.1.20	役員会議(大学事務局との打合せ)
1.24	広報委員会議
2.22	役員会議・学生表彰「紫桜賞」選考会議 広報委員会議
3.10	広報委員会議
3.15	広報委員会議
3.25	会長卒業式出席 入学記念品「バッジ」袋詰め作業 「錦野」発送準備 広報委員会議
3.28	「錦野」発送作業・役員会議

## 〈付表1〉平成15年度 懇親実行委員会 会計報告

収入の部		支出の部	
本部会計より補助金	¥ 100,000	会議費	¥ 45,575
本部会計より補助金	¥ 14,107	懇親会飲食費	¥ 247,210
出席者負担金	¥ 235,000	キッズルーム	¥ 15,680
		サービス料・消費税(ホテル分)	¥ 40,642
<b>合計</b>	<b>¥349,107</b>	<b>合計</b>	<b>¥349,107</b>

## 〈付表2〉平成15年度 広報委員会 会計報告

収入の部		支出の部	
本部会計より広報費補助金	¥ 270,060	旬花報創刊号印刷代	¥ 270,060
本部会計より広報費	¥ 300,000	「紫桜会」名称賞品	¥ 30,000
		編集事務費	¥ 3,822
		会議費	¥ 1,000
<b>合計</b>	<b>¥570,060</b>	<b>合計</b>	<b>¥304,882</b>

※収入(¥570,060) - 支出(¥304,882) = 残高(¥265,178)  
残高¥265,178は、本部会計平成16年度予算に繰り越し、旬花報第2号に充当する。

## 補足「卒業準備金 預かり制度」発足に伴う預かり金について

預かり金額	期	預けに来た人	預かった日
¥ 88,527	17	国文学科 竹野あゆみ	2001. 3.18
¥ 70,000	13	国文学科 齋藤 恵	2001. 9.11
¥ 98,916	18	美学美術史学科 野手 千歌	2001.11. 2

通帳(群馬銀行 玉村支店)にて管理

## 平成16年度 活動予定

月別	活動内容
16年 4月	入学記念品贈呈・「紫桜賞」表彰「旬花報」年会費納入通知 発送
5月	第6回幹事会(平成16年度総会)役員会議 広報委員会議
6月	役員会議 広報委員会議
8月	広報委員会議
9月	広報委員会議
10月	懇親会準備委員会議 広報委員会議
11月	役員・懇親会準備委員会議 懇親会案内発送 広報委員会議 「紫桜賞」募集
12月	第5回懇親会 役員・懇親会準備委員会議 広報委員会議
17年 1月	広報委員会議
2月	役員会議・「紫桜賞」選考会議 広報委員会議
3月	「錦野」発送作業 役員会議 広報委員会議





「思い出の玉村町、そして今の生活」

卒業してから十余年の月日が流れました。本当にいつも、時は気付かぬうちに過ぎ去るものだと改めて感じています。時々届く同窓会や学部からの通知は役員の皆様のご苦労への感謝とともに、私に学生時代を懐かしむきっかけをつくってくれています。

薄桃色の壁が印象深い整然としたキャンパス。あの回廊を部活のトレーニングでぐるぐる走りました。たまねぎの存在がやたらと際立っていた学食のカレーライス（今でもあるのでしょか）。自転車と、なかなか来ないバスが交通手段だった緑豊かな玉村の町での下宿生活（今では賑やかに発展している

とか。呆れるくらいのおんきでのんびりとした贅沢な日々でした。嗚呼惜しいことをした！

ところでそれ程かつてを懐かしむ余裕のない今の生活はと申しますと、栃木県の田舎で働き、子育てして暮らしています。ここでは新鮮な野菜が身近でスローフードブームの影響か、食を考えた興味深いお食事処も充実してきており、いかにおいしいものを食べようか、食卓を豊かにしようかと考える日々。しかし現実にはなかなか。慌てて買求めたコロッケに救われたりしています。

近頃「まあいいか」、「どうせ〇〇」とよく言っているそうで、深い意味はないつもりですが、後ろ向きに聞こえるらしいのです。新年を迎えて間もないことですし、口を慎もうと思っています。言葉の持つ力は凄いらしいですから。

まともりなく最後になりましたが、去年は「災い」の年でありました。どうか今年が「幸い」の年となりますように。

英文8期 池澤 有紀子(旧姓 小林)



何を食べましょう、美味しかったお料理。

関西地区  
ネットワーク  
呼びかけ

卒業後20年が経ちました。2期生には関西出身者が3名おります。大阪、奈良、大津とそれぞれの地で暮らしながら親交を深めております。春の大阪城、夏の奈良町、秋の嵐山、冬の日本海など時候にあわせて、集っては話に花を咲かせております。また数年に一度は奈良市在住の村田先生にもご出席賜り、楽しい時を過ごして参りました。就職、転勤、結婚などで関西にお住まいの方も増えた事でしょう。村田先生+3名の集いから関西地区の集いへと広めたいと思います。関西地区在住の方はご連絡下さいませようご案内申し上げます。

電話番号・ファックス番号

077・578・5654

国文学科2期生 昼田 寛子(旧姓 高木)

編集後記

「紫桜会」の名のもとに集う私たち、この名にふさわしい匂いいたつ様な季節の到来。巡りきて皆様がいかにお過ごしでしょうか。今回「旬花報」少し頁数、カラーが減りました。予算の関係でやむをえず、こんな形となりました。まだまだ若い同窓会、これからの正念場!! 一人でも多くの方々の参加、ご支援をお願いしたいと思うのです。同窓会費は随時、受け付けております。多くの方の賛同を受けたくここにもう一度、口座番号を記します。

群馬県立女子大学同窓会年会費

口座番号

005500・5・19825

(口座1,000円)

最後になりましたが、お忙しい中、原稿を寄せて下さった皆様、本当にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

(広報委員長 狩野順子)